

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書（護岸概成時）

（令和 6 年 10 月分）

【小型地曳網等調査】

国 土 交 通 省 近 畿 地 方 整 備 局

大 阪 港 湾 局

大 阪 湾 広 域 臨 海 環 境 整 備 セ ン タ ー

目 次

I 事後調査の概要

- 1. 調査概要 I - 1
- 2. 調査結果の概要 I - 3

II 事後調査結果

- 1. 水産生物（小型地曳網等調査） II - 1

I 事後調査の概要

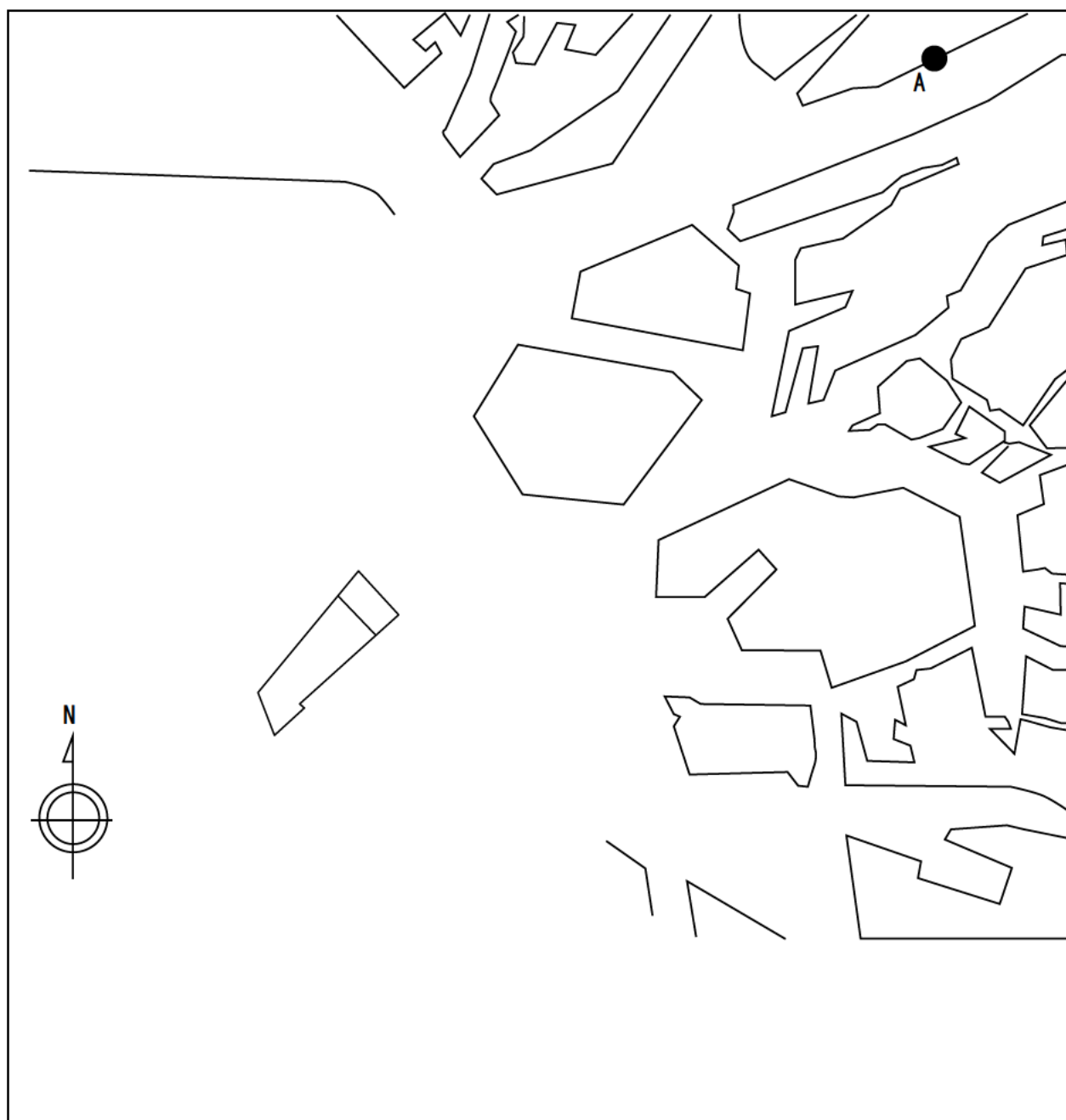
1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和6年10月の事後調査（水産生物（小型地曳網等調査））の概要は表－1に、調査地点の位置は図－1に示すとおりである。

表－1 事後調査（水産生物（小型地曳網等調査））の概要（令和6年10月）

（8）海域生態系

調 査 項 目				調査範囲・地点	調査頻度	調査期間	調査方法(試料採取方法)
水産生物	ヨシエビ等現存量調査	小型地曳網等調査	種別個体数、全長	淀川の岸辺1点	4回/年 (3, 4, 10, 11月)	10月31日	淀川の岸辺で小型地曳網等を用いて曳網を行う。
			水温、塩分				採水し、機器測定を行う。



図—1 小型地曳網等調査地点（令和6年10月）

2. 調査結果の概要

(1) 水産生物（小型地曳網等調査）

1) 水産生物(ヨシエビ等)【海域生態系様式9号】

① 10月31日調査

生物の出現種類数は、合計で魚類2種類、甲殻類(エビ・カニ類)1種類の計3種類であり、湿重量は、魚類が15.5g/曳網、甲殻類が0.1g/曳網であった。

出現種は魚類ではキチヌ、アイゴ、甲殻類(エビ・カニ類)ではガザミ属であった。

Ⅱ 事後調查結果

水産生物②ヨシエ等現存量調査(水産生物(小型地曳網等調査))[令和6年10月分]

調査日：令和6年10月31日

項目		調査点	A
水 温(表層)		[℃]	20.7
塩 分(表層)		[－]	16.2
種類数	魚類		2
	甲殻類 (エビ・カニ類)		1
	頭足類 (イカ・タコ類)		
	その他		
	合計		3
個体数	魚類		1
	甲殻類 (エビ・カニ類)		<1
	頭足類 (イカ・タコ類)		
	その他		
	合計		1
湿重量 [g]	魚類		15.5
	甲殻類 (エビ・カニ類)		0.1
	頭足類 (イカ・タコ類)		
	その他		
	合計		15.5
主要種 個体数 [%]		キチヌ	
		1	(40.0)
		アイゴ	
		1	(40.0)
		ガザミ属	
		<1	(20.0)
主要種 湿重量 [%]		アイゴ	
		15.5	(99.5)
主要種の 全長 [cm] (平均値)	キチヌ		1.4
	アイゴ		12.9
	ガザミ属		0.7

- 注) 1. 調査では4回曳網を行っている。
 2. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。
 3. 主要種は各測定点での個体数または湿重量の上位5種のうち、
 組成比率が10%以上のものを示す。
 4. 主要種の全長欄のガザミ属は甲長を示す。